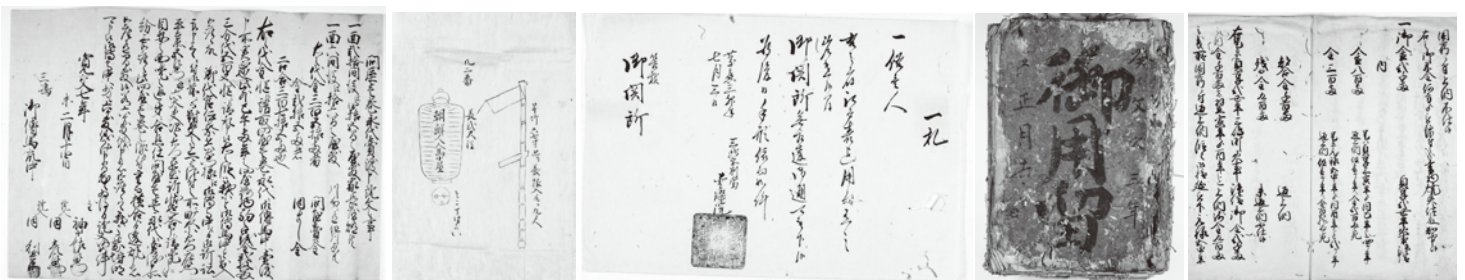


三島宿を支えた人々

三島 問屋場・町役場文書から

三島は古くから交通の要衝として栄えてきました。江戸時代には東海道の宿場のひとつとなり、公的な輸送業務（宿継）を担う問屋場が置かれ、ここに三島宿を支えた人々に関する多数の記録が残されました。これらの問屋場文書は現在、郷土資料館が収蔵しています。当時の三島宿の様子を知るためだけでなく江戸時代の宿場町を知る上でも貴重な資料群です。

郷土資料館では平成 25 年度に三島宿問屋場文書、市役所文書、中郷村役場文書などを「三島 問屋場・町役場文書」として一括して整理しました。今回の企画展はこの文書のうちから江戸時代の三島宿に関するものを取り出し、紹介するものです。



問屋場売渡証文

朝鮮通信使関連資料

往来手形

御用留

問屋場財政資料

宿場町の主な役割は人やモノの輸送機能と宿泊機能のふたつでした。問屋場はこのうち輸送機能（宿継）を果たすための中心的な場所で、宿継に関する多数の古文書が残されています。宿場町として町が賑わう反面、公的な輸送の仕事は伝馬役といわれて宿場町や周辺の村々に義務付けられ、住民の負担となりました。



東海道五十三次之内三島・朝霧



上：東海道五十三次之内三島・行書版
左：五十三次名所図会 十二 三島



道中画譜

浮世絵など宿場町や宿継の様子を知るための図版も展示します。

【館内関連事業】

■展示解説 4/27(日)、5/5(祝) 11:00～ 30分ほどで解説を行います。

■「候(そうろう)」をさがせ

「候文」とも言われる古文書から「候」を探し出します。様々に崩されて書かれる「候」を探して、普段なじみのない古文書に親しんでみてください。

■宿場町クイズ お隣とくらべてみました

箱根・三島・沼津の3つの宿場を比べると三島宿の特徴が見えてきます。

■2・3階体験学習室

「浮世絵パズル」「三島宿風俗絵屏風まちがいさがし」「立体浮世絵・立版古をつくろう」など宿場に関する体験メニューを用意しています。

三島市郷土資料館

三島駅南口から徒歩5分、市立公園楽寿園内

